

# STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

## 受け入れ予定

高校2年生の海外研修旅行でも交流のある、韓国の姉妹校・昌原南中學校高等学校からの交換留学生2名を受け入れます。1月8日（月）から26日（金）まで滞在し、ホームステイをしながら、授業に出席します。この受け入れは両校の姉妹校提携に基づいて行われるものです。

また、1月23日（火）、24日（水）の一泊二日でホームステイの一行（中高生27名〔男子22、女子5〕、先生3名）を受け入れます。昌原南中高は、釜山市から西方約50キロメートルのところにある昌原（チャンウォン）市にあります。昌原市は人口108万人の工業都市で、年間通して気候は暖かく、雪はめったに降りません。市内はとても清潔で、美し

い町です。学校は、韓国長老派教会の信徒によって設立されたキリスト教主義学校です。中学校（男女共学）は、1学年8クラス、高校（男子）は1学年10クラス、合計約3,000名の生徒がキリスト教を基本にした全人教育をモットーに学んでいます。教職員は中高全体で120名。同校が、現在力を入れているのは、国際交流とコンピュータなどの情報教育。語学については、英語はもちろんのこと、第2外国語として、ドイツ語と中国語を課しています。日本語の学習をする生徒もいます。ヴォーリズ学園と同じ、「地の塩・世の光」（The Salt of the Earth, The Light of the World）が学校訓です。



校庭から望む校舎群



壁には学校訓（英語）



受験祈禱会



全校集会のようす

## 留学生の自己紹介



Jung Ho Yun  
第1学年  
生年月日：2001.8.25  
将来の希望：編集者  
好きな科目：国語、音楽  
趣味：アニメを見ること、音楽を聴くこと  
留学の目的：将来、日本の大学に留学するため

私の名前はジョン・ホユンと申します。ジョン君と呼んで下さい。私は韓国の昌原南高校から来ました。まず、こんなふうに日本の学校でみなさんと一緒に勉強できることが、本当に嬉しいです。私は今、日本の早稲田大学に留学することを目標にしています。この留学で日本語の実力を身につけることで、大きく役に立つと思います。それと、皆さんと一緒に話したいです。まだ、日本語が完全によく話せるほどではないのですが、皆さんとお話すると楽しそうです。

日本の好きなものは、アニメです。最近は「アイドルマスター」と「君の名は」を見ました。また、好きな小説は物語シリーズで、日本の食べ物の中では、寿司が好きです。



Park San Jun(朴相俊)  
第2学年  
生年月日:2000.11.6  
将来の希望：料理人  
好きな科目：特にありません  
趣味：音楽鑑賞  
留学の目的：大学留学を希望するため

私の名前は、相俊です。韓国の昌原南高校から来ました。今年で三年生になります。私は、今日本への留学を目指しています。今回のホームステイはその練習だと思っています。私が日本語の勉強を始めたのは、ほんとうにあっけない理由でした。高校に入学する前の休みに、急にアニメに興味を持ち、もし日本語を勉強したら字幕なしにアニメを見られるのではないかと思って、始めました。そのおかげで、ここまで来て、良かったと思います。そして私は友だちがあまりいないので、この短い期間にたくさん友だちを作りたいです。今、友だち募集中ですから、どうか話しかけて下さい。

## ただ今留学中

### International Student Camp

111 長谷川大翔  
姉妹校留学

Grand Rapids Christian High School(アメリカ)  
2017/7/29 ~ 2018/3/下旬

It has been approximately 3 months since I came to the United States. I think winter has almost come. The coldest temperature of this month was  $-2^{\circ}\text{C}$ , and it was snowy. The U.S. uses Fahrenheit to show the temperature. It's difficult for me to understand it. My English is getting better. I studied pretty hard this month, so I got 96% in the test of Algebra and I got 86% in test of Biology. My grade is not so bad so far. I can always see my grade on the internet, so I can do my best for good score. Mostly, we use computer for class. It is completely different from Japan. I will keep doing same as before or more.

I went to an art festival in downtown with my

host family. There was a lot of great art there. I found a Japanese cartoon which is known as "Tetsuwan Atom". It was so much fun.



We had an international student camp near the Lake Michigan. We had 20 international students and 15 American students. There were many activities there. Such as zip line, pool ball, ping pong ... etc. I made some additional friends, and we established great friendship. (2017/11/1 受信)

---

## A lot of experiences everyday

111 長谷川大翔

---

It has been about 5 months since I came to the United States. The first half of my time studying abroad is already gone, and I'm still having a lot of experience everyday.



In this month, It was snowy everyday. I had three big events this month.

Secondly, I celebrated Christmas twice. First time was with my host family, host grandfather, and some brothers and sisters of my host father. The meal for Christmas is the same as Thanksgiving except for the ham and turkey. It was so much fun. The second time was with just my host family. They gave me some presents, and I gave some presents as well, I'm glad that I could have such good times.

Thirdly, I left my current host family's house to join another family during Christmas break. They are very kind to me, so I have been spending a good time with them. I went to North Michigan with them, and I skied. After that, I went to Mackinac island. Mackinac island is an Island which is on the lake Huron. The people in Mackinac island use horses and bicycles instead of cars. My real parents have been there, so I'm glad that I got the same experience as my parents. We had so much fun.

In study, the first semester is finished. I did a pretty good job for my first time studying in the United States. I'm getting ready for winterim courses which is the term to do more fun things which we can choose ourselves. It is chosen by twelve grade first and eleventh grade. So I couldn't chose the electives which I really wanted to choose. But I still got good electives. I chose food and fitness and Japanese movie analysis. I'm very excited about them. (2018/1/1 受信)

---

## オーストラリアのクリスマス

111 北川 星羅  
姉妹校留学

Citipointe Christian College (オーストラリア)  
2017/7/15 ~ 2018/6/30 頃

---

約 2 ヶ月のホリデーが始まりました。このホリデーはクリスマスが一番大きなイベント

です。学校でのクリスマスを迎える雰囲気は毎週授業の一部としてある礼拝の時間が最後の週はクリスマス仕様になり、いつもはクリスマスチャンについての歌を歌っていましたが、その日はクリスマスの歌を歌いました。他にもイルミネーションが点灯されたり、クリスマスのデコレーションが増えたりしました。授業では聖書を読んで本当のクリスマスの意味を学びました。他にも、クリスマスの歌を使ってリスニングもしました。最近のクリスマスはみんなお金を無駄に使いすぎていると先生がみんなに教えてくれました。

家ではクリスマスイブに買い出しに行き、翌日のクリスマスの準備をしました。スーパーマーケットでもクリスマスの商品がたくさん売られていました。夜はホストファミリーと一緒にイルミネーションを見に行きました。公園などに見に行くのではなく、一般の家のイルミネーションを見に行きました。庭を公開していて誰でも無料で入ることができます。その家の近くはたくさん車のと人でいっぱいでした。寝る前はプレゼントのラッピングをしてツリーの下にみんなのプレゼント置いてから寝ました。

クリスマス当日は朝からチャーチに行き、その後クリスマスパーティの料理を作りました。私のホームステイ先では毎年ハムを食べているみたいで今年も食べました。プレゼントは日本とは違い、親から子供にあげるだけでなく家族みんながお互いにプレゼントを買って交換しました。私にも香水や服などとても素敵なプレゼントをくれました。クリスマスの次の日の 26 日はボクシングデイといっていたお店でセールをするそうです。どのお店も普段では考えられないくらいの人でいっぱいになるそうです。私は 27 日にショッピングセンターに行きました。どのお店もセールをされていていつもよりお得に買い物をすることができました。(2017/12/30 受信)



---

## Christmas and New Year Day in Australia

111 加藤 大吉  
姉妹校留学

Citipointe Christian College (オーストラリア)  
2017/7/15 ~ 2018/6/30 頃

---

Happy New Year.

This month was very special because of Christmas and the new year. In my house, we celebrated Christmas with other families and we had a party. Through it, I realized a different point



of Christmas between Japan and Australia. It's Boxing Day. It comes after the Christmas, and most of products will be on a big sale. This culture isn't popular in Japan. I also realized many Japanese people don't know where the name of Christmas comes from. I had already known it, but I hadn't thought about it, so this Christmas was good for me.

Christmas is the celebration of the birthday of Jesus and we thank God and Jesus and give a present to them. In Japan, I think parents give a present to their children in most families, but in Australia, children also give a present to each family member and say gratitude of daily life.

On New Year's, we also celebrated it with other families by a party. In Australia, fireworks were also had in the city of Brisbane and we saw it from our house while eating a big meal.

\*\*\*\*\*  
(2018/1/3 受信)

## St. Andrew's Junior College (シンガポール) の高校生を受け入れて (保護者感想文)

### すてきな体験と留学生との縁

初めての留学生受け入れに英語が苦手な家族一同、不安な気持ちも正直ありましたが、今となってはすてきな体験、子どもと留学生との縁に感謝しかないです。子ども同士は、先に行われた研修旅行で絆が生まれ、二週間後に会いましょうと、笑顔で別れてからの再会。異国の地でのホームステイを経験することで、より一層お互いを思いやる「真の隣人愛」を理解出来たのではないかと思います。

私たち親も笑顔が可愛い留学生に出会った瞬間、それまでの不安は消え、時にはスマホ翻訳に頼りながら、「日本文化を学びたい」気持ちいっぱい留学生とともに、いっしょに出かけたり、生活をし、親子共々、一生の中で貴重な体験ができた数日間でした。

ホームステイ最終日の朝、日本語でお礼と感謝の気持ちを伝えてくれた留学生でした。感極まり、みんなで涙しました。私たちも、「あなたは家族だからいつでも帰ってきてね。」と伝えました。いつの日か再会できる日を信じて、この国際交流が続きますようにと、願っています。

### 別れは涙、涙

このたびの研修旅行では、シンガポールで息子がホームステイさせていただき、とても大切に迎えてくださったようで、とても嬉しくほっとしました。そして、わが家に来てくれるということで、楽しみにしていました。

迎えに行き、現れたのは想像していたより

In Japan, I think adult people don't have holidays enough, but in Australia, holidays are very long and people often get a holiday. In Australia, care system is very popular and markedly so.

Another big good point is that credit cards are very useful, which means you can pay everything with credit card even just a bottle of water. For example, when you buy shoes, if the product is less than AU\$100, you can buy it without your signature, also Australian Money is very convenient because it's made of plastic, so you can swim with money, also it isn't torn easily.

In Australia, from 16 years old, people can get a driving license, so some people come to school with their own car. Also if parents allow them to drink alcohol, they can drink it from 16 years old.

(2018/1/3 受信)

小柄でやさしい笑顔のシャイな青年でした。シンガポールでお世話になったこと、出会えて嬉しいとごあいさつして握手すると、彼の手はひんやりしていて、「冷たいね、寒くない？大丈夫？」と思わず聞いてしまいました。息子は一生懸命に英語で話しかけている様子で、頼もしかったです。あつという間に帰る日になり、お別れの時が来ました。「ありがとう！また会おうね！」と伝えると彼の目に涙が。私も我慢がきかず、別れは涙、涙でした。

たった、数日のことで何も出来ませんが、心の交流ができたのだなどの実感が残り、そして別れがさみしかったです。家族でもその後、どうしているかなとか話しています。

先生方には丁寧に準備していただき、子ども達や私たち家庭を信じて任せて頂き、本当に貴重な数日間を過ごす事が出来ましたこと、深く感謝致します。息子にも生涯に残る経験になったと思います。ありがとうございました。



ゆかたを着て笑顔の留学生たち